



-解脱会太陽精神碑-

# かけはし

～ 埼玉県勢初の快挙～

## 全国道場対抗剣道大会 第3位入賞



10月16日（日）に愛知県小牧市に於いて、第38回全国道場対抗剣道大会が開催されました。各都道府県の厳しい予選を勝ち抜いた強豪71チームが集い、小学生、中学生、20代、30代、40代のチーム構成での団体戦、まさしく道場としての総力を試される大会です。大会では、全国屈指の強豪チームが熱戦を繰り広げる中、解脱錬心館チームも一戦一戦厳しい試合を勝ち上がり、迎えた準決勝では関西屈指の名門道場である小曾根剣友会と対戦し、一進一退の手に汗握る白熱した試合を展開しましたが惜しくも敗退してしまいました。しかしながら**全国第三位入賞**は埼玉県勢初の入賞となる、まさに快挙であり、輝かしい成果を収めました。また、同日に行われた**全国道場少年剣道選手権大会**では小学生男子個人の部で全国ベスト8、中学女子個人の部で全国ベスト16という次に繋がる素晴らしい成績を収めました。田中館長からは「子供達の努力は勿論のこと、専従の先生方には、毎日の指導と共に自己の修練に務め、解脱錬心館の目指す師弟同行を、身をもって示されたことは、素晴らしいことであり、心より敬意を表します。」とお言葉を頂きました。これを励みにして、更に上を目指して努力して行きたいと思っております。

### 全国道場対抗剣道大会（団体戦） 第3位

先鋒 大野 勝輝（小6） 次鋒 福永 陸斗（中3）  
 中堅 泉 英太（専従） 副将 小林 竜也（専従）  
 大将 吉田 潤（専従）

### 全国道場少年剣道選手権大会（個人戦）

小学生男子の部 ベスト8 大野勝輝（小6）  
 中学生女子の部 ベスト16 猿山桃花（中2）

### ☆ 稽古風景スナップ ☆

（写っていない門下生ごめんね！）



## 行事予定



《11月》※11月14日以降の予定

※令和4年11月15日(火)より稽古時の保護者入館(見学)可能といたします。

但し、必ずマスク着用し検温、消毒して入館下さい。

尚、感染状況で再度入館不可になる場合もありますのでご承知ください。

### ○ 館の行事

※稽古休み 23日(水・祝) 祝日の為

### ○ 大会・審査会

18日(金) 六段審査会(東京)

19日(土) 七段審査会(東京)

19日(土) 剣道体験教室(14時~14時30分)

20日(日) 剣道体験教室(14時~14時30分)

23日(水・祝) 埼玉県剣道連盟創立70周年記念埼玉県剣道大会(一般・上尾)

24日(木)・25日(金) 八段審査会(東京)

26日(土) 剣道体験教室(14時~14時30分)

27日(日) 剣道体験教室(14時~14時30分)

### ○ 受入行事

28日(月) 第142回解脱金剛御生誕祭(解脱会)

《12月》

### ○ 館の行事

11日(日) 道場大掃除(9分~11時)

※後援会(少年部保護者)・全門下生参加

◎今年の稽古納めは各クラスの最終日を稽古納めと致します。

木刀教室 12月22日(木) 通常の稽古時間(10時~)

一般部(午前) 12月21日(水) 通常の稽古時間(10時半~)

一般部(午後) 12月22日(木) 通常の稽古時間(20時~)

初心者・少年部合同 12月23日(金) 17時~18時

※強化選手の稽古納めは、強化予定表を確認して下さい

### ○ 大会・審査会

1日(木) 埼剣連月例稽古会(県立武道館)

11日(日) 毎日レディース剣道大会(小中女子代表・東京)

17日(土) 清野秀武館倉石道場創立55周年記念剣道大会(小中代表・長野)

### ○ 受入行事

4日(日) 埼玉県剣道連盟審議員・審査員研究会(埼剣連)

大切な三つの教え

中学3年 柳 瑠里

私は、十年間剣道をやってきて、たくさんの経験をしました。その中でたくさんのことを学ばせていただきました。大きく分けると三つあります。

一つ目は、「礼儀」についてです。私は、礼儀、あいさつはとても大切なものと学びました。剣道は礼に始まって、礼に終わると言います。始めるときにこの試合ができることに感謝の気持ちを示し、終わった時に試合をさせていただいたことに感謝の気持ちを示すことだと学びました。いつも行っている稽古のはじめのあいさつと終わりのあいさつにも「道場を使わせていただきます。ありがとうございます。」という気持ちが入っているのだと学ばせていただきました。日頃から意識するのは難しいですが、自分だけでなく、自分の周りの環境が整っているおかげで毎日稽古ができていているということを常に意識して感謝の気持ちを持ち、謙虚な心で過ごしていきたいです。

二つ目は、「相手への思いやりの気持ち」です。私は、中学一年生のときに、同じ学年でものを決めるときに、自分の意見しか通さず、相手の意見を耳に通そうともしませんでした。そして、自分の思う通りにうまくいかないと、誰にも関わらずに一人で帰ってしまうということがありました。その時、先生に「みんなはどのような気持ちになったと思う？」と聞かれました。先生は「みんなは、一人だけの意見しか通そうとしない私を見て、自分の意見を変えてしまった。また、自分の意見が通らずに一人で帰ってしまったときにみんなはとても嫌な思いをしたらろう。」と教えてくださいました。私は、もっと相手の意見を聞いて、状況を考え、周りのことを気かければ良かったと後悔しました。一人だけいい気持ちになって、他のみんなが嫌な気持ちで終わるようなことはやってはいけない、自分だけではなく相手の意見をよく聞き、周りを見られる人にならないといけないことを深く学びました。今、自分がしたことが相手にはどう感じたのか、どんな気持ちになったのか、また、自分がされて嫌なことであつたらしいし、自分がされて嬉しいことは相手にもしてあげることが相手を思いやる気持ちだと思います。私はその思いやりの気持ちを培って相手と接して、良い人間関係を築き上げていきたいと思いました。

三つ目は「当たり前なこと」についてです。私が中学一年生の時から新型コロナウイルスが流行し、いつもできていた稽古や大会がなくなってしまったときに、当たり前に出ていたことの大切さがかみしめられました。日頃、当たり前でできていることは当たり前過ぎて、それがどんなに大切なものだと考えることができませんでした。今は、一つ一つの稽古、大会、行事があるという、当たり前に対して、とても嬉しい気持ちがあります。今あること、今できることに感謝の気持ちを持つべきと、今の時期だからこそ強く感じることができました。また、稽古、大会だけではなく、今、生きていること、家族がいること、毎日すごせている、当たり前のことのできていることに改めて、感謝の気持ちをもっと持ちたいと思いました。

私は、剣道を習い始めてから、技術面だけではなく、人間性もたくさん学ばせていただきました。これからの人生で、今までたくさんを学ばせていただいたことを生かして、剣道をやってきてよかったな、剣道をやってきたおかげで今の自分があるなと自分自身の糧となれるように過ごしていきたいです。

剣道を通して学んだこと

中学3年 福永 陸斗

自分の学生生活は、剣道一色だったといっても過言ではありません。年長の時から始めて10年。もちろんいい事ばかりではありませんでした。夏の稽古は道着が絞れる程の汗をかき、防具は一日干しても乾かない。冬は冬で、足裏の感覚がなくなるくらい冷たい床。冬の朝稽古は特に辛く、真っ暗の中を道場へ向かい、凍えながら稽古をしました。小学生の頃、下校時に遊ぶ約束をしている友達をうらやましく思ったこともあり。しかし中学に入ってからそれはあたり前となり、先輩達の様になりたいとがむしゃらに毎日過ごしていました。先輩達とはとにかく尊敬できる先輩達で、あんな風になりたいと憧れました。そんな先輩達もあつという間に卒業して、自分も気付けば中学二年の夏になり、いよいよ自分達の代になるというプレッシャーの中、先生に次の副大将に考えていると言われ、想像もしていなかった事にただ驚き、プレッシャーと責任感と不安とで気持ちがいっぱいになりました。しかしそんな気持ちとは裏腹に時間はどんどん過ぎ、中学二年の終わり、その頃の自分はなかなか試合にも勝てず、イライラして、家では母にきつくあたってしまう事もありました。副大将としても指示がうまく出せず、後輩へ思いやりを持つ事も出来なくなっていました。やっぱり自分は先輩達のようににはなれないと気持ちが沈むばかりでした。そんな自分に追い打ちをかけたのは腰のケガでした。医師からは、「完治したいのならば半年間剣道を休みなさい」と言われる事態となっていました。その時のことは今でもはっきり覚えています。医師の説明を聞きながら頭の中に先生方の顔が次々と浮かびました。同期の仲間の顔も浮かびました。間近に迫っている全国大会、錬成会、いろいろな事が頭をいっぱいになりました。自分の体のケアもできず情けなかった。もしかしたらもう選手としてもだめかもしれない、これまで頑張ってきて、今になってこんな事になるなんて…。沈んだ気持ちのまま道場へ向かいました。あまりに情けなく、先生の顔をまともに見る事も出来ませんでした。そんな自分に先生は「今は我慢の時だ。体を大事にし、焦るな、大丈夫だ。先生もいろいろ調べてみる」と話して下さったのです。見離されてもおかしくないのに先生は自分の事のように心配してくれました。その後も稽古が出来ない自分の為にトレーニングメニューを考えて頂き、体をほぐして頂き、試合にも出られないのに錬成会にも連れて行って下さいました。「一緒に戦うんだぞ」と背中を押して励まして下さいました。チームの仲間も荷物を持ってくれたり試合内容を相談してくれたり、痛みがある時は肩を貸してくれたりしました。保護者の方も「無理するな」といつも声をかけて下さいました。そんなたくさんの支えがあり、試合にも出られる状態になることができました。そして中学三年。この道場で過ごす最後の一年。今まで支えてくれた方々に感謝し、少しでも恩返しができるよう全力で頑張ると心に決めていました。いつも励ましてくれた仲間、体の為にお弁当や夕飯を作ってくれた母、心配してくれる家族。そしてどんな時も側にいて全力で向き合ってくれた先生方。この道場が自分の支えであり、家族でした。

剣道をしていく中で辛い事もたくさんありました。自分を見失う事も、悔しくて泣いた日もありました。しかしそういう一つ一つの事が自分を成長させてくれました。仲間と目標に向かって努力する事、相手を思いやる心、先を読む力、人と人が支え合う事の大切さ、自分の弱さを知る事の大切さ、そしてどんな時も感謝の気持ちを忘れないこと。この道場で学ばせて頂いた事は、この先ずっと自分の軸になると思います。これからも剣道を通してたくさんの事を学び、自分の力にできるように努力していきたいです。

## 「私の宝物」

中学3年 宮副 心

私は、剣道を通して沢山のことを学び、沢山の大切なことに気付くことが出来ました。

小学生の頃から日本一という目標に全員で向かっていましたが、稽古についていくのに必死で毎日の稽古をがむしゃらにやっていました。中学生になってからは、コロナウイルスの影響で大会や錬成会は中止、稽古もまとまらぬ状況で先輩方が苦しむ姿を沢山見ました。そこで毎日稽古が出来る環境を整え、試合にも出場し、何一つ不自由なく剣道ができるようになるのは当たり前ではないと改めて気付くことが出来ました。いつも道場では、剣道のことはもちろん、剣道以外の生活面、人としての礼儀など様々なことを先生方からご指導いただく中で、毎日不自由なく剣道ができることに感謝しなくてはならないということは分かってはいましたが、それは頭の中で理解しているだけあって、剣道が出来ないという環境になって初めて実感することが出来ました。

二年生になって、少しずつですが試合が開催されるようになり、三年生の先輩方にとっては最後の夏の大会、全国大会出場を目標に頑張りましたが、自分の力を出し切ることが出来ず、負けてしまい悔しい結果に終わってしまいました。三年生、いよいよ自分達の代になり、最後の夏の大会に向けて昨年の反省を生かし、自分達で、ミーティングをする回数を増やし、積極的にコミュニケーションをとってチームワークを高め、稽古やトレーニングがきつい時は声を掛け合って全員で頑張り、大会が近くなってきたら生活面を見直すということで、道場だけでなく、普段使っているロッカーや更衣室などを稽古前や後に掃除したりと自分達で考え、出来ることは全てやりました。先生方も全力をつくしてくださっていたのに本番はプレッシャーに負け、自分のポジションの役割を果たすことが出来ず、目標としていた全国大会出場をあと一歩のところまで逃してしまい、三年間の集大成がとても悔しい結果で終わってしまいました。三年生が中心の大会が終わり、新しい代が中心の稽古が始まり、自分に少し余裕が出てきて今必死に頑張っている後輩達を見て改めて思うことが沢山あります。まず、ここまでやってこられたのは今の仲間達や先生方がいてくださったおかげで、絶対に誰か一人でも欠けては、ここまでやってこられなかったと思います。一緒にきつい稽古を乗り越える仲間、稽古以外のことにも真剣に向き合ってくくださる先生方に出会えたことにも感謝しなさいと思います。そして、三年生は今受験で急がしい時期だけれど、自分達が先輩方にしていただいたように今頑張っている後輩達を全力でサポートし、少しでも力になればと思います。改めて、私は剣道を通して、沢山の大切なことを学び、気付かせていただけて最高の仲間、先生方に出会えて幸せ者だと思います。このような恵まれた環境で剣道が出来ていることに感謝して、残りの期間も稽古をし、高校では、新しい環境、仲間達と一緒に目標に向かって頑張ります。最後に、私が通っている道場、解脱錬心館は私の一生の宝物です。

## ☆稽古風景スナップ☆ (写っていない門下生ごめんね！)



## ～お知らせ～

### ◎第77回国民体育大会(神奈川)

成年男子の部 **準優勝** おめでとうございます！  
神奈川県代表 次鋒 田中 晃司 (OB)

### ◎第20回埼玉県剣道大会(上尾)



- ◎小学6年の部(個人戦)  
**優勝** 大野 勝輝
- ◎小学5年の部(個人戦)  
**優勝** 石井 明 **準優勝** 石井 楷人
- ◎小学4年の部(個人戦)  
**優勝** 岡谷 尊

### ☆昇段おめでとうございます-----

五段 川端 明 (一般)  
四段 井田光哉 (一般) 内村日向 (OB) 大西 尊 (OB)  
令和4年11月5日取得

### ◎第7回桜木杯争奪松井剣士会少年少女剣道大会(所沢)

- 小学3年生以下男子の部  
**優勝** 関根剛士朗 (小3)
- 小学3年生以下女子の部  
**第三位** 小林 優菜 (小3)
- 小学団体の部  
**第三位** 石井 明 (小5)  
斉藤 美虹 (小6)  
大野 勝輝 (小6)



### - 編集後記 -

今回も残念ながら主催大会は中止となりましたが、一人一人がしっかりと目標を持ち、今できる事を大切に努力精進し今年も後2ヶ月、気を抜かずに感染防止を徹底して頑張ってください！(Y)